

平成26年

3月1日【土】

午後2時開演  
(午後1時30分開場)

※午後1時45分から開演前ショート解説があります。



しゅうくがらかさ  
「秀句傘」(和泉流)  
シテ 野村又三郎



はながたみ  
「花筐」(宝生流)  
シテ 衣斐 正宜



撮影：瀬野 雅樹

名古屋能楽堂  
三月定例公演

◆開演前ショート解説「『花筐』について」和久莊太郎

ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から  
抽選で10名様に能楽グッズをプレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券が入っておりますのでご確認ください。(ご応募の締切は休憩終了まで)

【世阿弥 生誕650年 —今、世阿弥を観る—】

花筐の能は花筐をいかにも執すべし。 (『世子六十以後申楽談儀』より)

能〈花筐〉は、大迹部皇子への照日の前の一途な想い描いた物狂能で、〈斑女〉〈水無月祓〉とともに、世阿弥が六十を過ぎてから作った作品。曲名でもある「花筐」は、皇位継承者として上洛することとなった皇子が、文を添えて照日の前へ残した愛用の花籠である。その花籠は、皇子の形見でもあり、照日の前の皇子への恋慕という一曲の主題を象徴するものでもある。だからこそ、この能では花筐を「いかにも執すべし(深く心にかかけよ。)」と世阿弥は言うのである。

主催

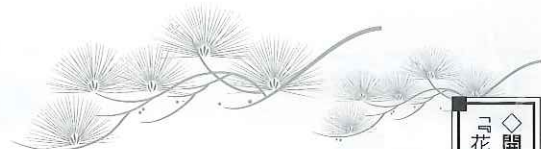


公益社団法人 名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



名古屋市文化振興事業団



◆開演前ショート解説(午後四時四十五分から午後二時まで)  
『花筐』について「和久莊太郎」

狂言 秀句傘 (和泉流)

シテ 大名 野村又三郎  
アト 太郎冠者 野口隆行  
アト 板東方の者 松田高義

能 花筐 (宝生流)

シテ 照日前 衣斐正宜  
子方 継体天皇 山田健登  
ツレ 侍女 衣斐愛  
ワキ 官人 飯富雅介  
ワキツレ 使者 橋本宰  
ワキツレ 興昇 相元正樹  
ワキツレ 興昇 橋本 叡

(午後四時頃終了予定)

地謡  
石森智幸 佐藤耕司  
竹内孝成 亀井保雄  
竹内淳一 東川光夫  
平田正文 和久莊太郎

日本語／三苦佳子(能楽研究家)  
英語／川崎瑤子(能楽イヤホンガイド)

◆狂言解説「秀句傘」(しゅうくがからかせ)

秀句とは機知に富んだ秀逸な句(洒落句)の事で、室町時代に流行していました。この流行に乗り遅れまいと考えた大名は、秀句を教わりたいと思いつき男(板東方の者)を雇います。この男は以前傘張りの仕事をしていたと云い、傘にまつわる秀句が得意という事で……  
折角秀句を習っても理解できない大名のもどかしさ、秀句に対する反応の示し方が笑いを誘います。  
(井上菊次郎)

◆能解説「花筐」(はながたみ)

能「花筐」は美しい「現在物」(主役が亡霊などではなく、現世の人物である能。時代は上代(日本書紀卷第十七に「男大迹天皇、継体天皇」の章あり))。越前の国、味真野で皇子時代をすごしていた大迹部の皇子の寵愛する照日前のシテとする。  
或る日、都から使者が来て、武烈天皇の御代を味真野の皇子に譲位されることとなった。照日前はたまたま帰省中であつたので、皇子は使いの者に手紙と、形見として日常手馴れていた花筐を彼女に届けさせた。手紙の最後には「頼めた、袖ふれ馴れし月影の、しばし雲居に隔てありとも」(愛しあつていたあなたとは暫く会えなくとも、必ず又会えるようにしましよ、それを信じていて下さい)と書かれていた。その後、皇子は皇位につき継体天皇となるが、照日前は形見の花筐を持ち侍女を伴つて都へ出てくる。たまたま紅葉の御幸に遇つたが、官人が照日前の侍女の持つ花筐を払い落としたことがきっかけとなつて、照日前は再び「袖ふれ馴る」間柄となつた。  
この能の後シテは、華やかな詩句によつて美しい舞が展開されるが、ワキの「いかに狂女。官言にてあるぞ。いかにも面白う狂つて舞ひ遊び候へ……」のあと、漢の武帝の寵姫、李夫人の故事が地謡のツヨ吟によつて厳肅な雰囲気であつた。シテは気品と格調を以て舞う部分がある。寸シクセとして構成されている。いかに中劇のような様相を呈するが、それは継体天皇と照日前との愛の物語から、同じく宮廷の愛情物語である武帝と李夫人の物語が、たとえ話としてここに置かれたものである。この一節は「李夫人の曲舞」として世阿弥の父、観阿弥の作になるものが、そのまま挿入されているが、しかし不思議なバランスを保っている。  
継体天皇は子方がつとめる。これも能の象徴性の一例といえる。  
(泉 嘉太)

チケット料金(税込)

|                 | 指定<br>Reserved | 自由 Non reserved |            |
|-----------------|----------------|-----------------|------------|
|                 |                | 一般 Adult        | 学生 Student |
| 前売 Advance sale | 4,000円         | 3,000円          | 2,000円     |

\*自由席のみ当日500円増 \*学生券は25歳以下を対象とします。

\*事業団友の会 会員は1割引 (名古屋能楽堂・名古屋文化振興事業団チケットガイド・事業団施設窓口の前売のみ)

\*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はご遠慮下さい。\*未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088  
名古屋文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387  
\*文化小劇場等、事業団が管理する文化施設窓口(須山荘除く)でもお買い求めいただけます。  
中京テレビ事業/TEL.052-957-3333  
栄プレチケ92/TEL.052-953-0777  
チケットぴあ/TEL.0570-02-9999 (Pコード 434-110)

\*お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。  
\*1月2日、3日は名古屋能楽堂のみの取扱となります。

●イヤホンガイド Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset (Japanese/English) 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語)

●併設の「御食事処 城」(184席/052-222-6699)がご利用いただけます。

お問い合わせ/名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088 FAX.052-231-8756 http://www.bunka758.or.jp



ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい  
「友の会」会員募集中!  
公益財団法人 名古屋文化振興事業団 TEL.052-249-9385